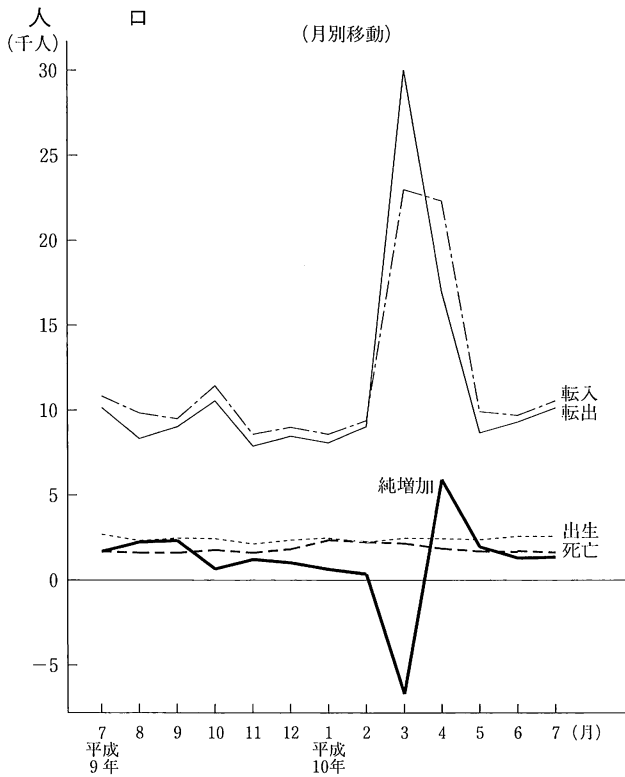


●今月の主な動き

今月の主な動き



■人口 (10年8月1日)

7月の概況

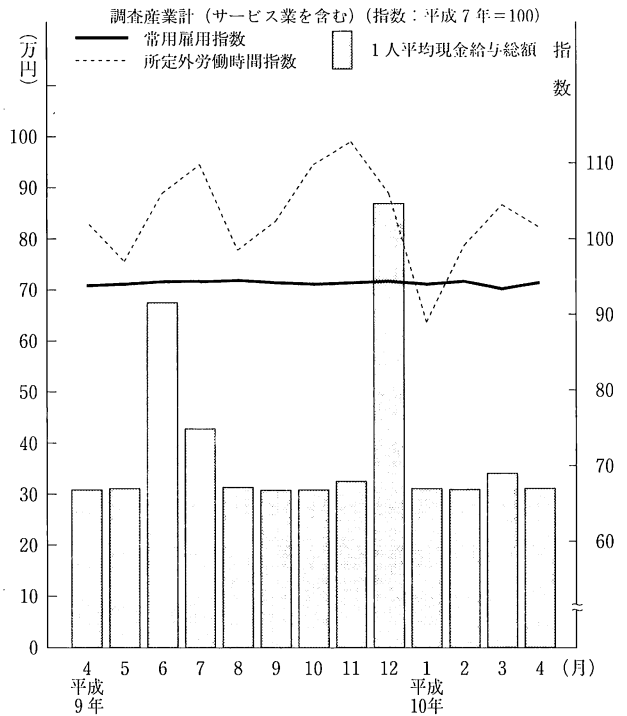
本県の人口は、7月中に1,361人増加し、8月1日現在で2,990,214人（男1,492,944人、女1,497,270人）となった。

内訳は、自然動態で947人（出生2,586人、死亡1,639人）増加し、社会動態で414人（転入10,564人、転出10,150人）増加した。前年同月と比べると12,256人（0.4%）の増加である。

市町村別では、増加が17市45町村、減少が3市18町村、増減なしが2町である。

世帯数についても7月中に1,030世帯増加し970,039世帯となった。

賃金・労働時間・雇用



■賃金・労働時間・雇用 (10年4月)

1. 平均賃金の推移

4月の現金給与総額は、調査産業計で310,579円、対前年同月比0.6%増、このうち、きまって支給する給与は307,456円、対前年同月比1.5%増であった。特別に支払われた給与は、3,123円であった。

2. 労働時間

4月の総実労働時間は、調査産業計で164.6時間、対前年同月比0.5%増であった。このうち、所定内労働時間は151.1時間、対前年同月比0.6%増、所定外労働時間は13.5時間、対前年同月比0.8%減であった。

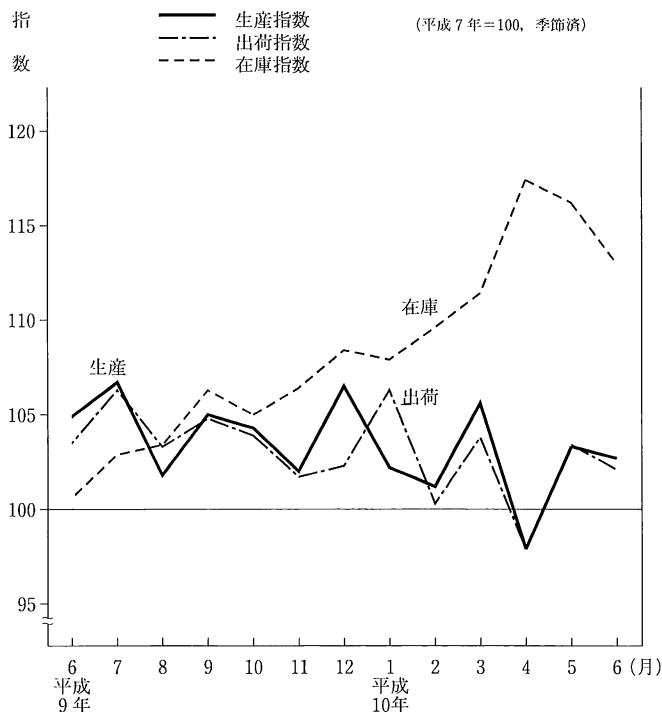
3. 雇用の動き

4月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.4増であった。

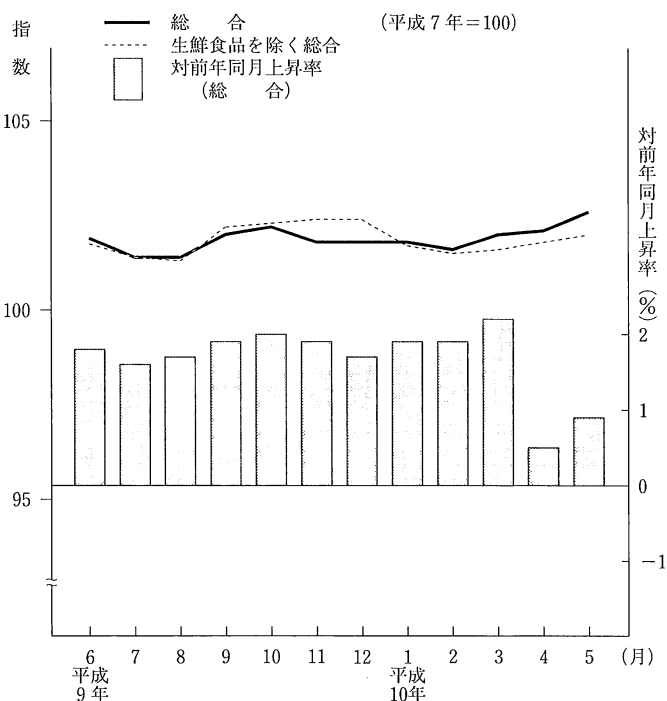
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年6月）

本県における平成10年6月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が102.7，出荷が102.1，在庫が113.0で、前月比は、生産が0.6%の低下，出荷が1.2%の低下，在庫が2.7%の低下であった。前年同月比（原指数）は、生産が2.1%の低下，出荷が1.3%の低下，在庫が12.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、一般機械工業，非鉄金属工業，金属製品工業等が上昇し，石油・石炭製品工業，精密機械工業，電気機械工業等が低下した。出荷では，化学工業，鉄鋼業，金属製品工業等が上昇し，一般機械工業，精密機械工業，石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では，一般機械工業，化学工業，繊維工業等が上昇し，精密機械工業，輸送機械工業，鉱業等が低下した。財別にみると，生産では，建設財，耐久消費財等が上昇し，資本財，鉱工業用生産財等が低下した。出荷では，耐久消費財，建設財等が上昇し，資本財，非耐久消費財等が低下した。在庫では，資本財，その他用生産財等が上昇し，耐久消費財，建設財等が低下した。

■ 消費者物価指数（10年5月）

平成10年5月の茨城県消費者物価指数（県平均）は，総合で102.6（平成7年＝100）となり，対前月比0.5%の上昇，対前年同月比0.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……生鮮野菜22.6%，上下水道料6.7%，保健医療サービス22.9%

今月の下がった主な項目……公営家賃8.9%，電気代4.4%，台所用品4.0%

生鮮食品を除く総合は102.0となり，対前月比0.2%の上昇，対前年同月比0.4%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上昇率 (%)		区 分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.6	0.5	0.9	保 健 医 療	112.4	0.0	9.9
食 料	103.8	0.8	1.4	交 通 通 信	98.2	△0.5	△1.2
住 居	103.0	0.9	1.0	教 育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	102.5	0.0	△0.9	教 養 娯 楽	99.1	0.2	0.5
家具・家事用品	96.4	0.2	△0.1	諸 雑 費	101.1	△0.1	0.4
被服及び履物	107.7	2.0	0.9	生鮮食品を除く総合	102.0	0.2	0.4